

薬剤師会様向け

ファルモクラウドを活用した 地域の調剤情報共有

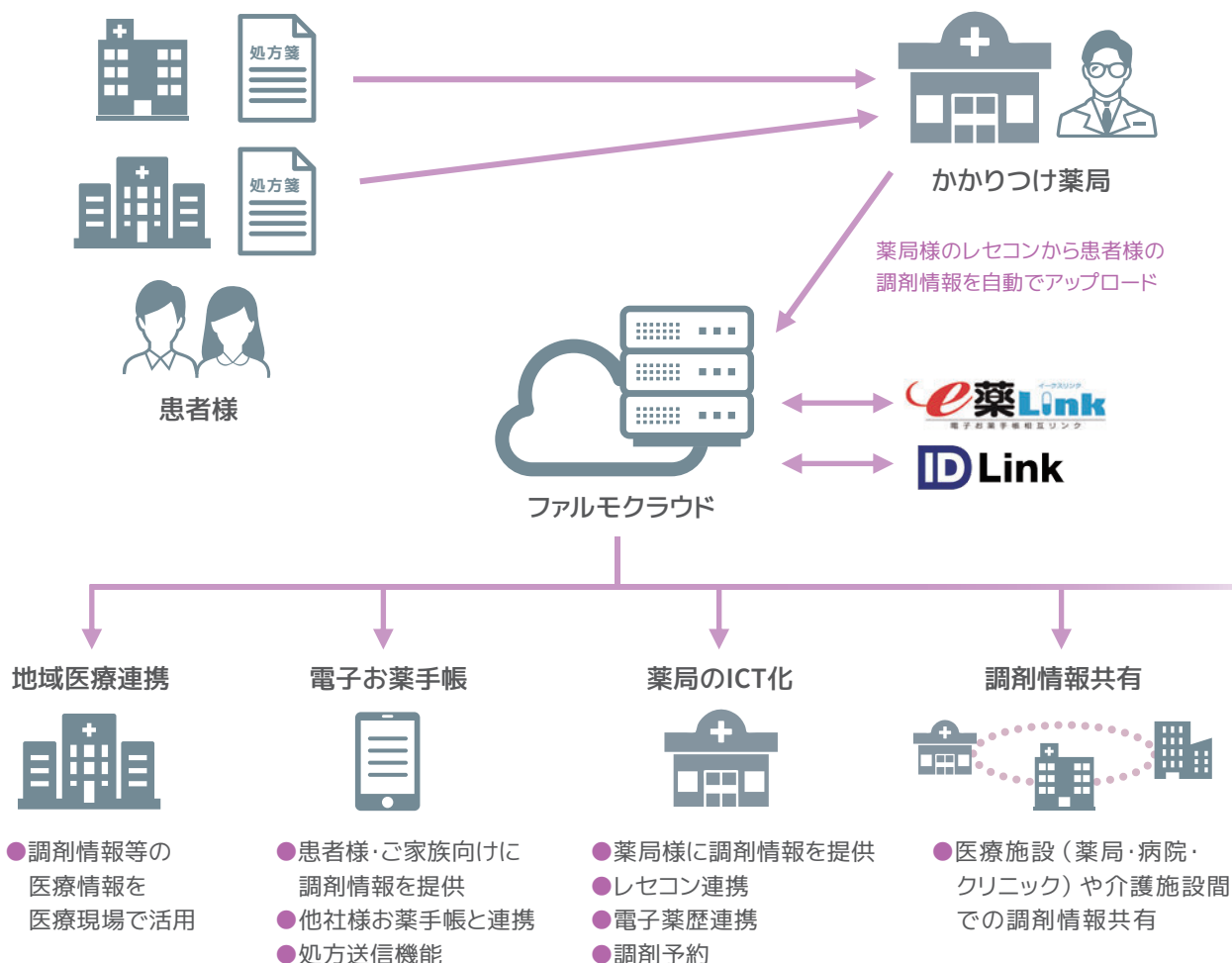
調剤情報の管理・蓄積・共有ハブシステム『ファルモクラウド』

ファルモクラウドを通じた、薬局間及び他施設間調剤情報共有、災害時体制の構築、地域フォーミュラリへの活用をご提案させていただきます。

ファルモクラウドについて

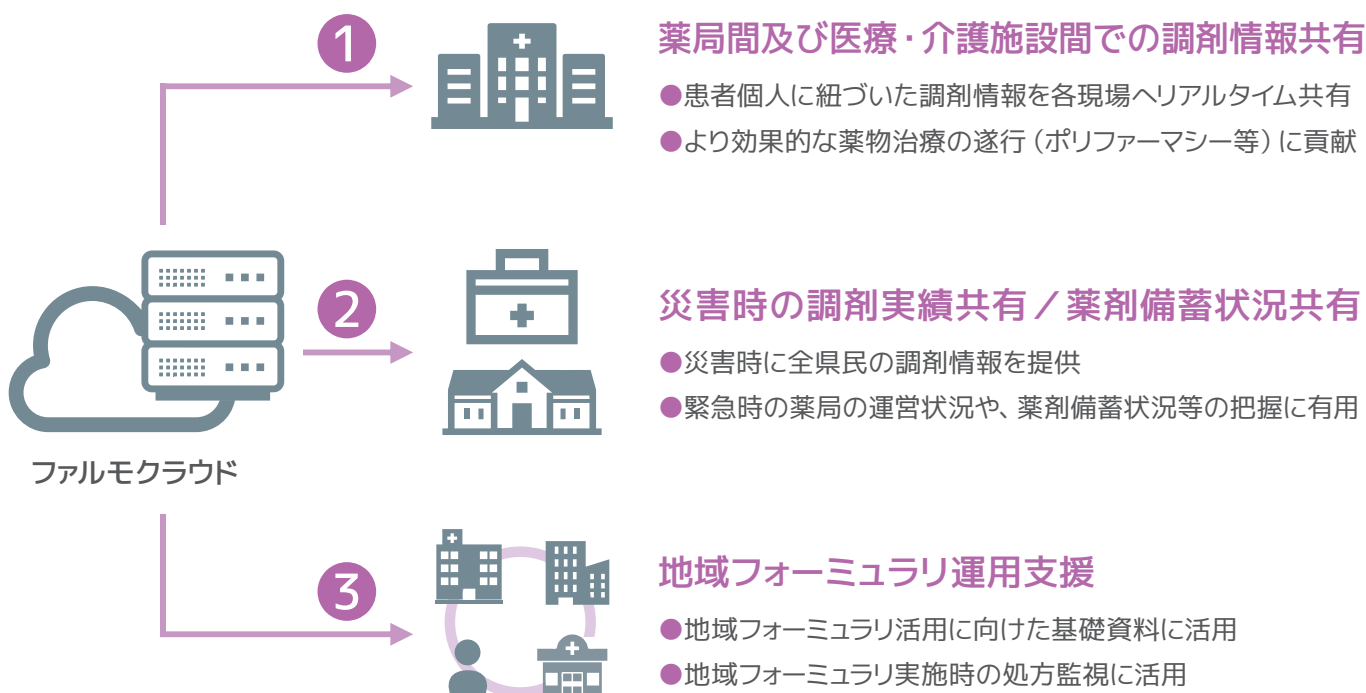
ファルモクラウドは、処方歴や薬剤情報などをはじめとする調剤情報を蓄積・管理し、電子お薬手帳や薬局、医療機関などと共有できる調剤情報ハブシステムです。

「e薬Link」や「ID-Link」と対応しており、ファルモクラウドに調剤情報を集めることで、電子お薬手帳のみならず、薬局のICT化推進や地域医療連携等の様々な場面での活用が可能になります。



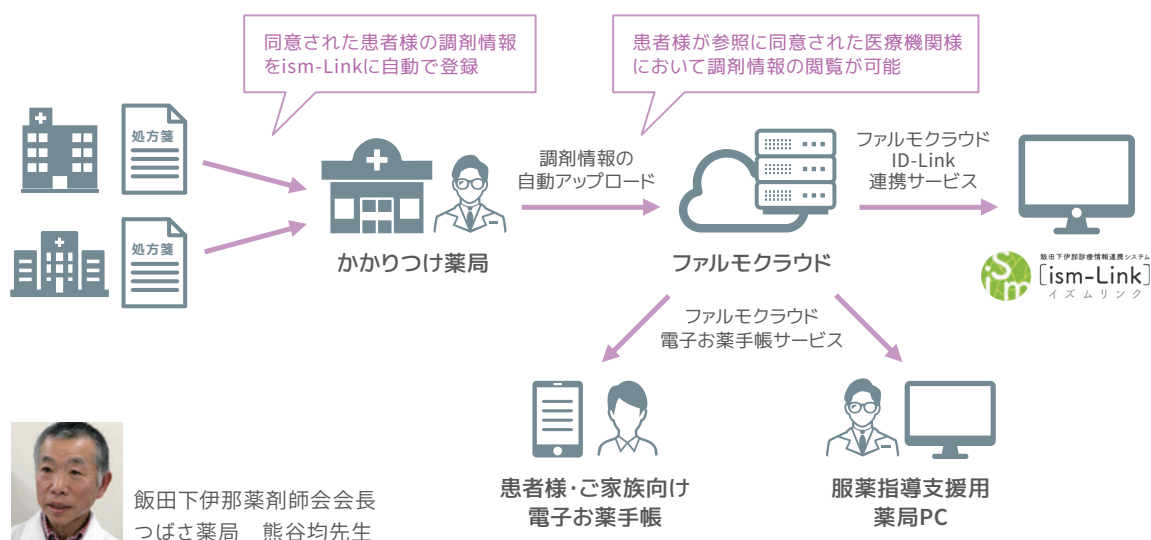
ファルモクラウドのご活用イメージ

※現在開発中の機能も含まれます



【ファルモクラウドの活用事例】飯田下伊那診療情報連携システム(ism-Link)様

ファルモクラウドの実装により、ism-Linkに参加する医療施設間での調剤情報共有を実現
 薬剤師会会員のほとんどの薬局様（57薬局）がご参加、調剤情報の地域活用を薬剤師会様が推進



住民の高齢化や独居世帯の増加、老老介護といった地域生活環境の中で、服薬管理が困難になりつつある中、残薬問題やポリファーマシーが目下の大きな課題です。紙のお薬手帳が十分に機能しているとは言えないため、お薬手帳に依らない調剤情報の一元管理のためにファルモクラウドを活用しています。また、一般名処方など後発品転換が進展してきたことから、実際に調剤された後発品が何か把握したいという要望が医師会から上がっていたこともあり、調剤情報の一元管理・共有の仕組みにも期待しています。